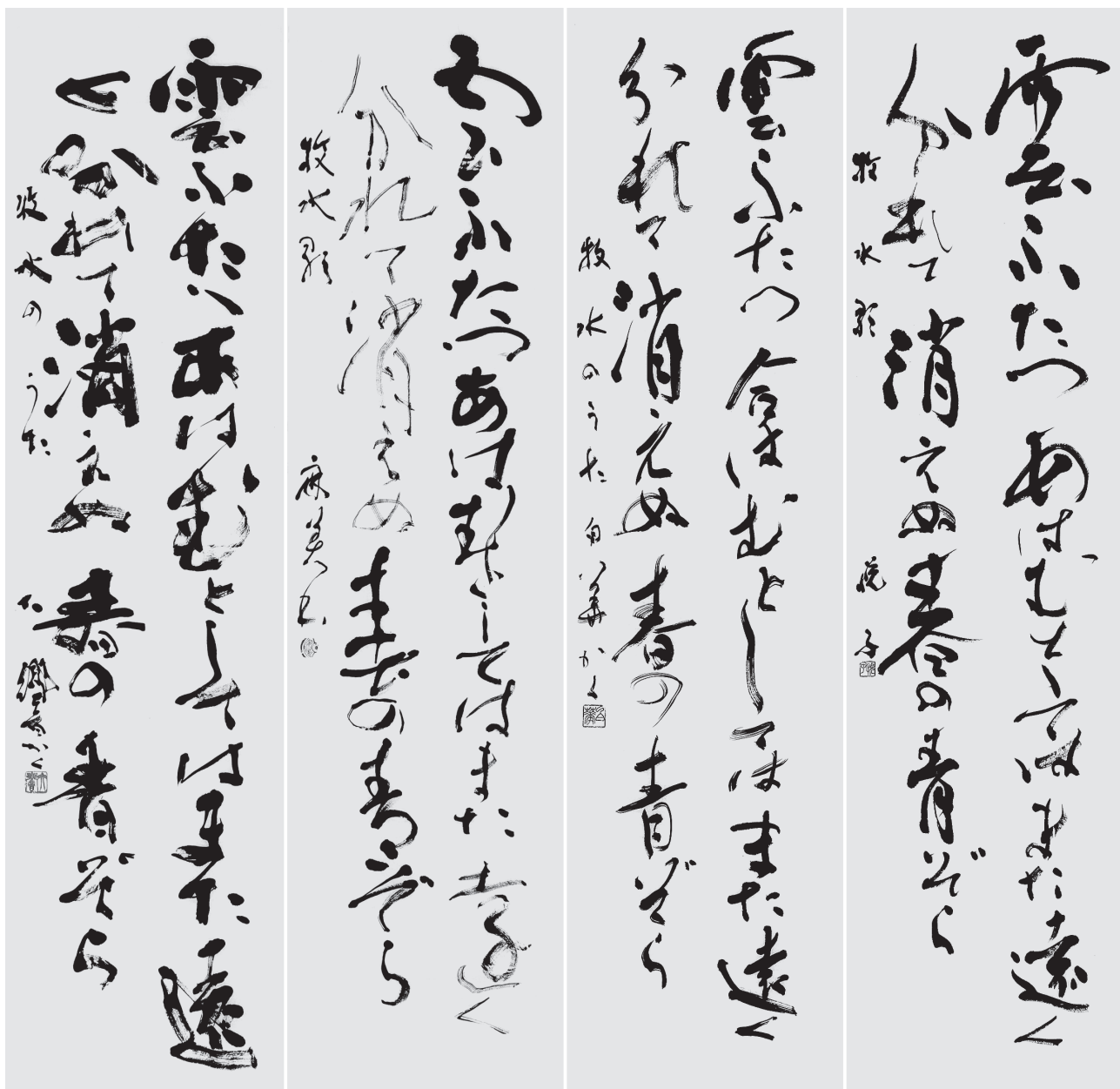


伊藤漠仙先生選評



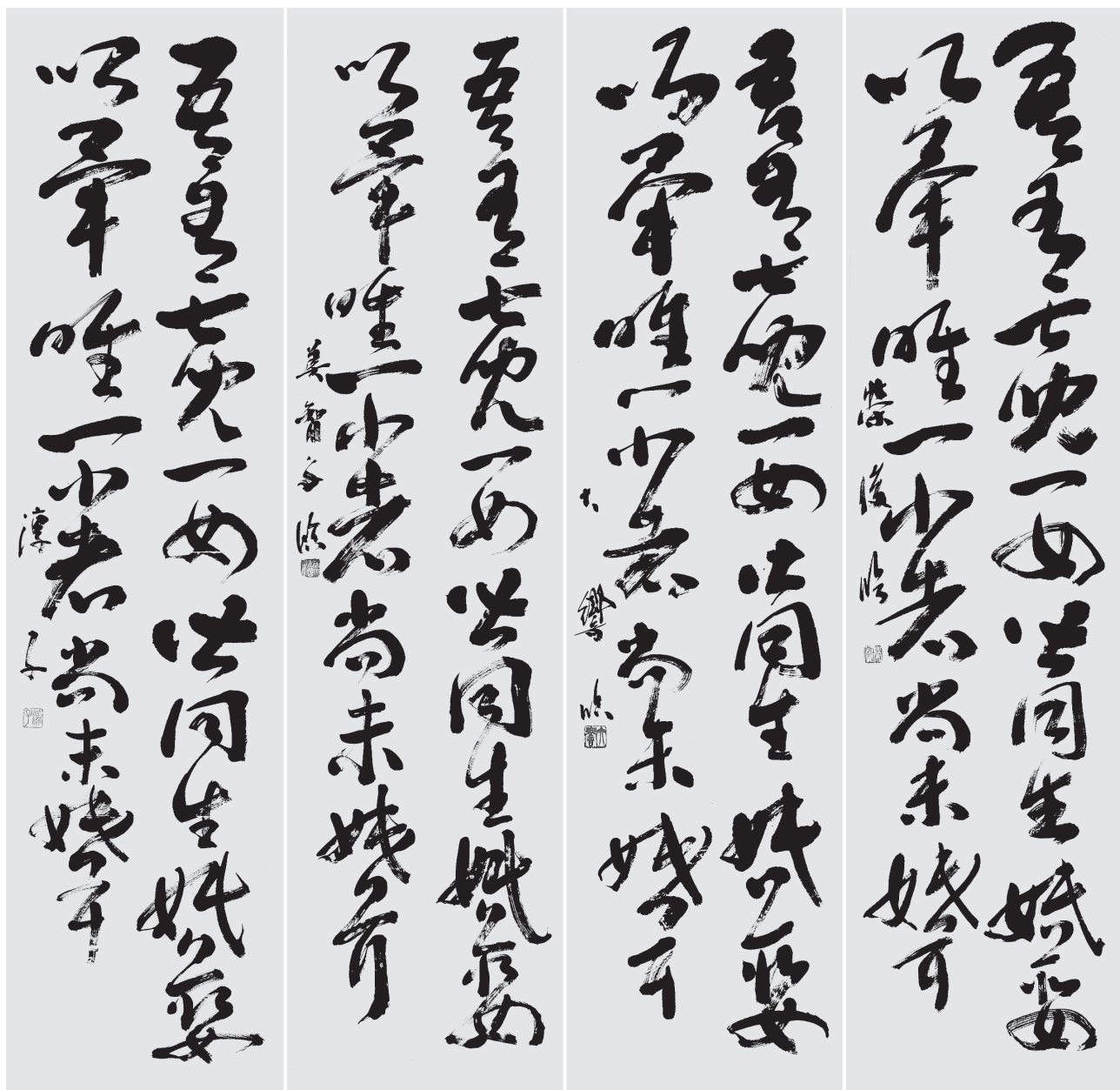
江川悦子 推選
上部をゆったりと運筆して、下部を小粒に纏めた構成力が素晴らしい。温かみのある雰囲気、仮名の表情が素敵です。潤渇の変化も自然で感動する作品です。

田尻白華 推選
左右の余白を取っていますが、全体のバランスは申し分ありません。書き出しから最後迄の一貫したリズム感が詩情に合っています。線の揺らぎも魅力的です。

大友麻美 推選
潤渇の配置が良く、参考作品を上手く消化して「青ぞら」は個性的です。作品を良く拝見すると、音楽の旋律の様な筆致です。運腕大きく風韻のある作。

家泉大響 推選
独特な字形を駆使しての章法は抜群です。太細、潤渇、遅速の変化が絶妙で、連綿字間の処理に非凡な才能があります。落款迄一貫性があり良。

武良霜伯先生選評



青木 榮俊 推選

「潤筆は金の如し」を実行されておられ、筆に含ませる墨量に依つて作品の趣が実に変化してゐます。運筆がゆったりしており、豊かな情感が滲み出てゐます。

家泉 大響 推選

長鋒で濃墨を駆使して、軽快に書き上げている。飛動する筆の軌跡が良く紙を掴んで、潤渇の美しい佳作です。作者の意志が感じられ線質に冴えががあります。

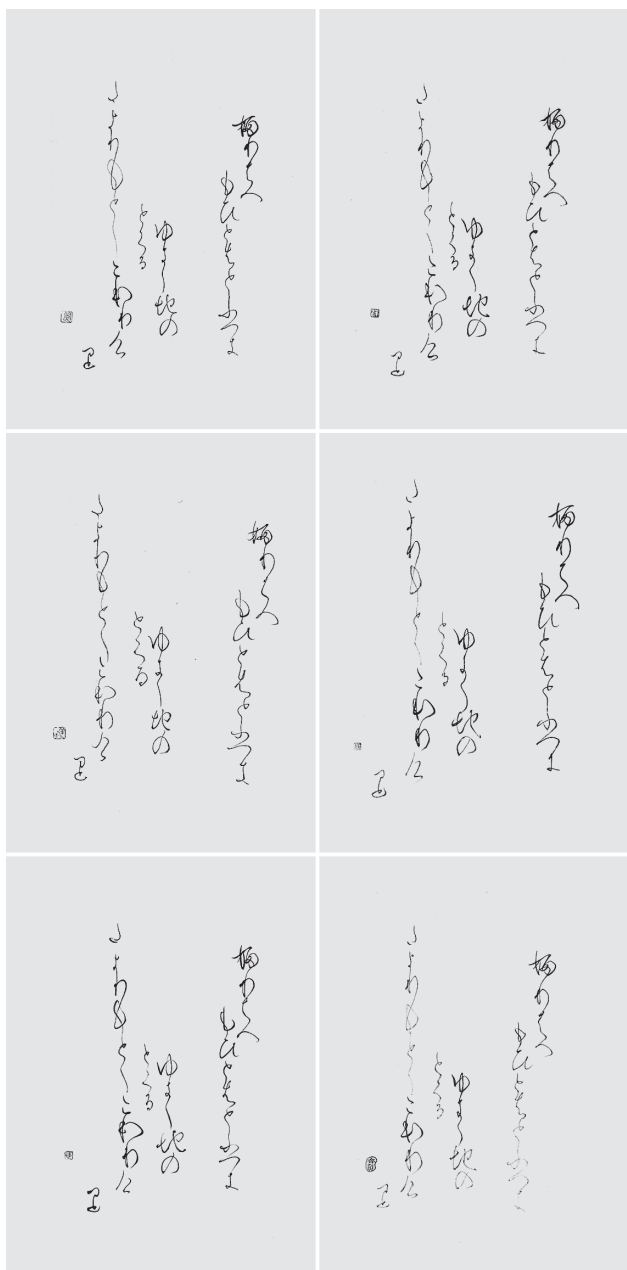
藤原 美智子 推選

全体を通貫するリズムが軽快で、筆の軌跡が見事です。それぞれの行の文字の中心がしっかりしており、作品に品格の高さと興行きの広さを感じます。

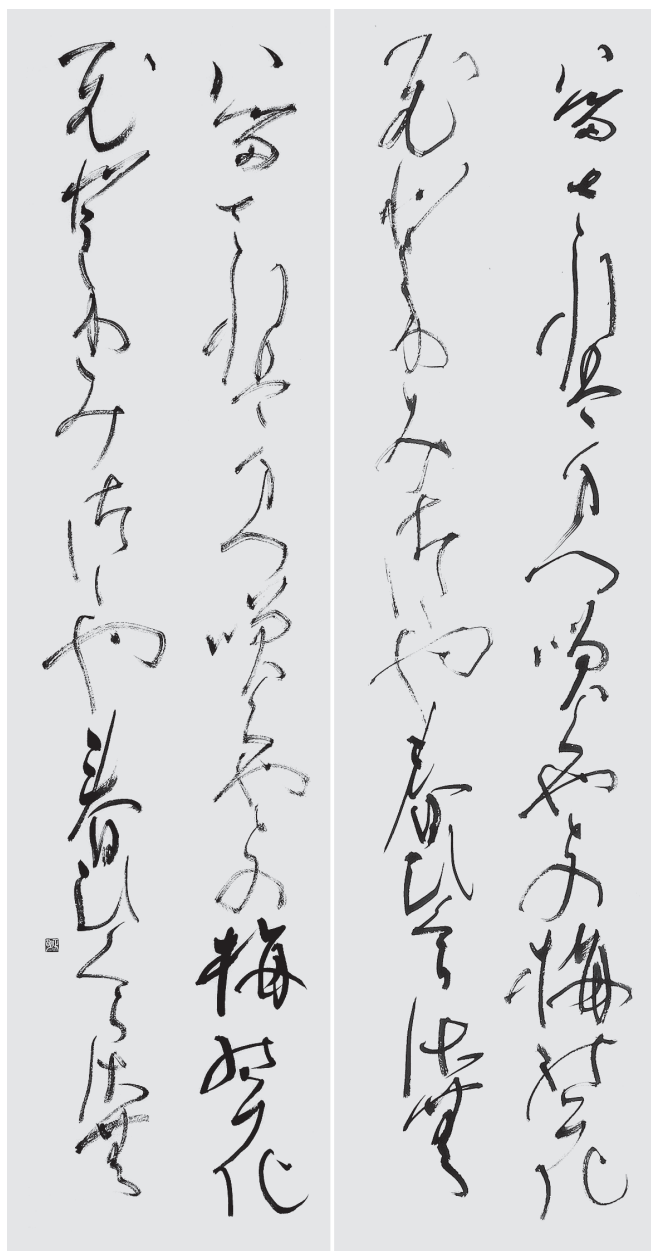
宮本 淳子 推選

悠然と書作する気概が作品を大きく見せている。行間の余白が美しく、丁寧にゆったりと臨書しております。落款はもう一字上から書き、「〇〇臨」と入りたい。

久保田淳子先生選評



吉澤真理先生選評



寺田翠鷗 八段
小鳥切の書風特質に馴れて気負いのない運筆が推察される。明るい雰囲気があるのは、散らしの字間・行間の工夫によって生まれたと思う。

渡辺洋子 準八
全体単調に思える程、原帖の繊細な連綿線を捉えて仕上がり居る。優雅な墨色ながら、潤渇の変化をもう少し加えると作品の魅力も増加する。

小宮運山 七段
紙質に調和のとれた美しい墨色。古筆をしっかりと習った姿勢が窺える。潤渇の変化、文字の大小を考慮すると、行の流れにリズムも加わる。

広瀬洋子 師範
墨色が美しい。伸縮自在に筆先が紙面を捉える様が目につく。小鳥切の流麗な連綿線も会得し他の作品制作にも見事に表現出来る事でしょう。

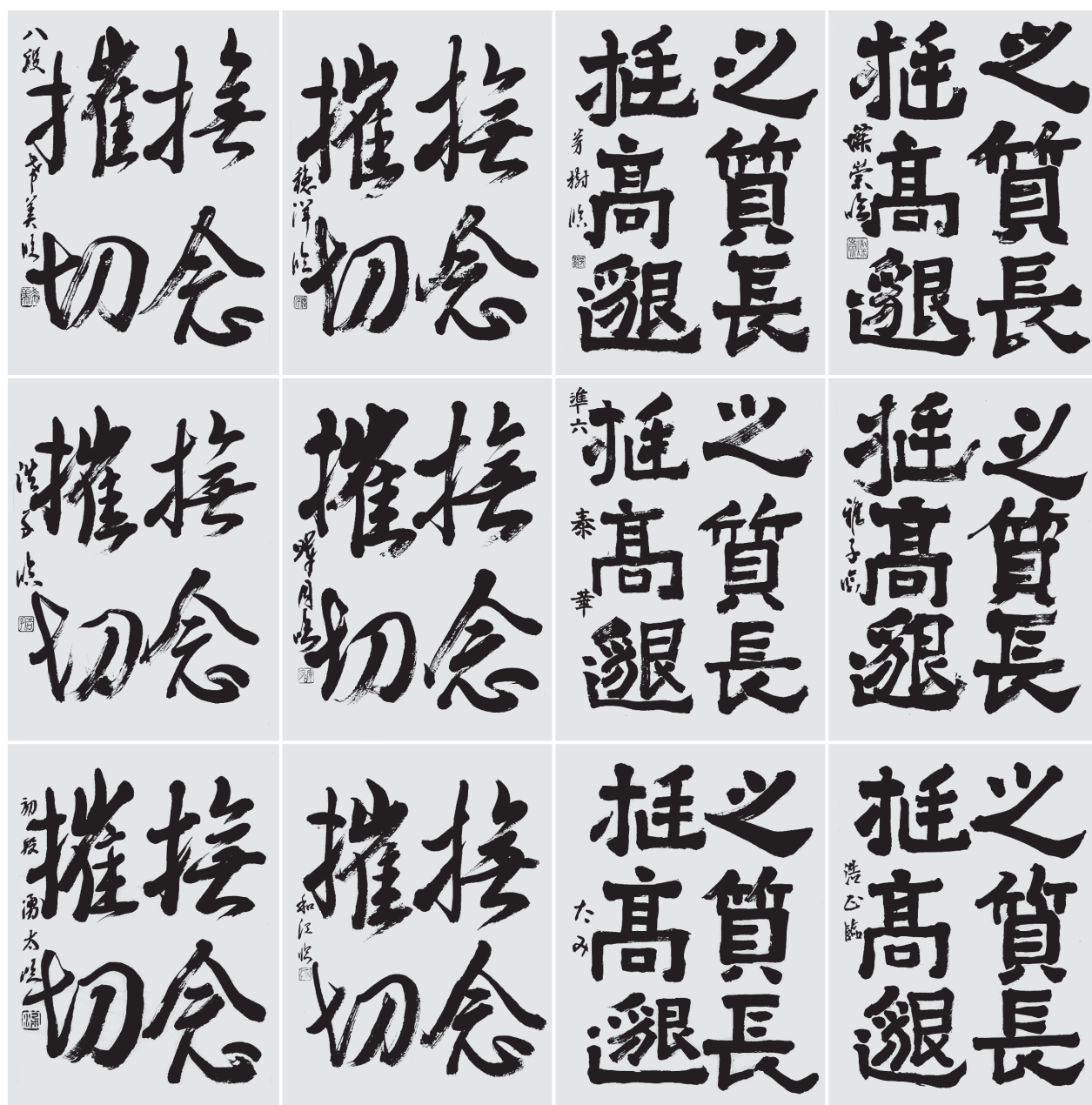
平山かつ美 師範
伸びやかなよく練れた運筆で、紙面にマッチした作品になった。散らしのバランスもよいが最後の「里」の一字、少し寄せてもよいかと思う。

小川香魚 準師
原帖の連綿線に意図して二行書きの雰囲気を行拂とさせる。やや小ぶりの文字ながら、しっかりとリズムもつけての運筆で個性ある作品になった。

五十嵐 正明 推選
優しくおだやかに表現されました。墨色も程よく全体の墨量の変化が的確で、気負わず自然なぬくもりのある作品となりました。

長岡 真貴子 推選
紙面いっぱいの迫力ある作品となりました。緊張感のあるきりつとした線が美しく、文字の中の圧の変化が見事です。落款のないのが残念です。

葛西玄濤先生選評



今村燦崇 師範

原帖の字形の特徴をよく観察して表現されています。大きな字を大きくせずに伸びやかな線を加えて大きく見せている技術の高さに敬服します。

野田芳樹 六段

安定した直線が字形の土台をしつかり支えています。遊び心があるような字形でも引き締まった強い線が多い原帖を見抜いて表現されています。

蜂須賀穂洋 師範

運筆の速度の変化が大きく、渴筆が効果的に配置されています。半紙の作品の文字配置が適切であり、完成度が高く魅力に溢れています。

近藤希美 八段

原帖の偏と傍の空間をうまく表現しています。渴筆の強い線が適切に配置されています。墨量の変化が明確となり、祭姪の感情が出ています。

都築雅子 師範

鋭い線を多く取り入れながらも、素朴な味わいを感じさせる作品です。筆の握りを軽めにして柔らかな動きが自然なことが、成功に導いている。

渡辺泰子 準六

優しさに溢れた印象を強く持つ作品です。文字の内外の余白が広いのが間延びしていないのは、線の鍛錬から生まれた。素晴らしいです。

鈴木暉月 師範

墨量と筆の浮沈の変化が明確で、力強さと繊細さがうまく混在しています。豪快な作品を産み出すお手本となる部分が多く、勉強になります。

鈴木浩子 七段

弾力のある線で、激しい感情を表現しています。文字が小さめではあるが、どの作品にも負けない筆の動きの変化が感動を呼ぶ作品となった。

圓谷浩正 八段

最も円やかな雰囲気を持った作品です。蔵鋒が丁寧に行われていて、送筆の速度がゆっくりゆっくりしているのが伝わってきて佳いです。

山谷たみ子 準二

ゆっくり丁寧な運筆されて真面目な臨書です。原帖の研究をよくされているので、表現の幅が今後と広がっていくと思います。楽しみです。

栗林和江 準師

きらめく鋭い線が多く見られて爽快です。それぞれの文字が気分良く流れているのは、運筆が自然で柔らかいからです。

栗野淳太 初段

規定手本をよく見て真面目にゆっくりに書かれています。書に向き合う姿勢として見習うべきと改めて思います。しっかりとした線に感銘します。